

あさり政策マニフェスト 2014

「とよなか 元気宣言」

人が輝き、地域が輝く、躍進するまち 豊中

平成26年(2014年)2月

私の政治理念 ～子どもたちの未来が輝くまちづくり～

私の政治理念は、希望に満ちた未来を子どもたちに託せるまちをつくることです。

このため、私は「子どもたちの未来が輝くまちづくり～響きあう豊かな心・支えあう地域の力」を理念に掲げ、市民の皆さまのご支援をいただきながら、市政を運営してまいりました。

豊中の最大の財産は「人」です。地域のコミュニティ活動や市民活動が盛んで、多彩な「人財」に恵まれております。この間、内外に誇れる「市民力」、「地域力」と行政の力をあわせてまちづくりを進めることができたものと確信しております。

たゆまない改革

2期目の4年間、私は、70項目に及ぶ政策マニフェストを提示するとともに持続可能な市政運営のため、1期目に引き続き、行財政改革を最優先に取り組みました。職員の定数削減はもとより、ピーク時に2,311億円あった市債を635億円削減。財政の将来負担比率も130%から35%に軽減するなど、聖域をつくることなく改革を推し進めた結果、14年間続いた「財政非常事態宣言」に終止符を打つことができました。

まちづくりの実績

その一方で、市民サービスの充実と向上を図るため、中核市に移行し、保健・医療や都市計画などの分野で多くの権限をもつことで、自立した都市として新たな一步を踏み出しました。また、子育て支援、学校教育につきましては、増加する待機児童の解消に向けて定員の拡大を図るとともに、教科担任制の導入や教頭の複数配置、教室の冷房化を進めるなど、子どもたちの学習環境の整備に力を注いでまいりました。

存続が問われた大阪国際空港につきましては、本市の重要な社会資本として、就航都市37自治体に、私自らトップセールスを行なうとともに、空港周辺跡地の利活用と企業立地の制度の充実をはじめ、周辺環境と調和したまちづくりを推進いたしました。

さらに、待ち望まれていた「(仮称)文化芸術センター」の建設着手や「(仮称)南部コラボセンター」構想の策定など、市民文化の拠点整備に向けて道筋を立てることができました。

ピンチからチャンスへ

2期目の任期満了を目前に控え、市財政のピンチを乗り越えた今、夢と希望の持てる豊中をつくるために、積極的に未来に向けた投資をするチャンスが到来しています。

私は、市民生活の安全安心はもとより、子どもたちを生み育てる環境づくりなど若い世代が快適に住み、働ける環境づくり。ものづくりなど産業のさらなる活性化。超高齢社会において、地域で安心して暮らせる介護や福祉サービスの充実を図ります。

また、豊中駅から曽根駅に至る中心市街地や千里中央地区、庄内再開発、市西部地区の再整備など本市の顔ともいえる拠点地区における賑わいづくり…。笑顔があふれ魅力と活気に満ちた元気なまちにしていく決意を新たにしております。

継続こそチカラ

私の信条は“継続は力なり”です。

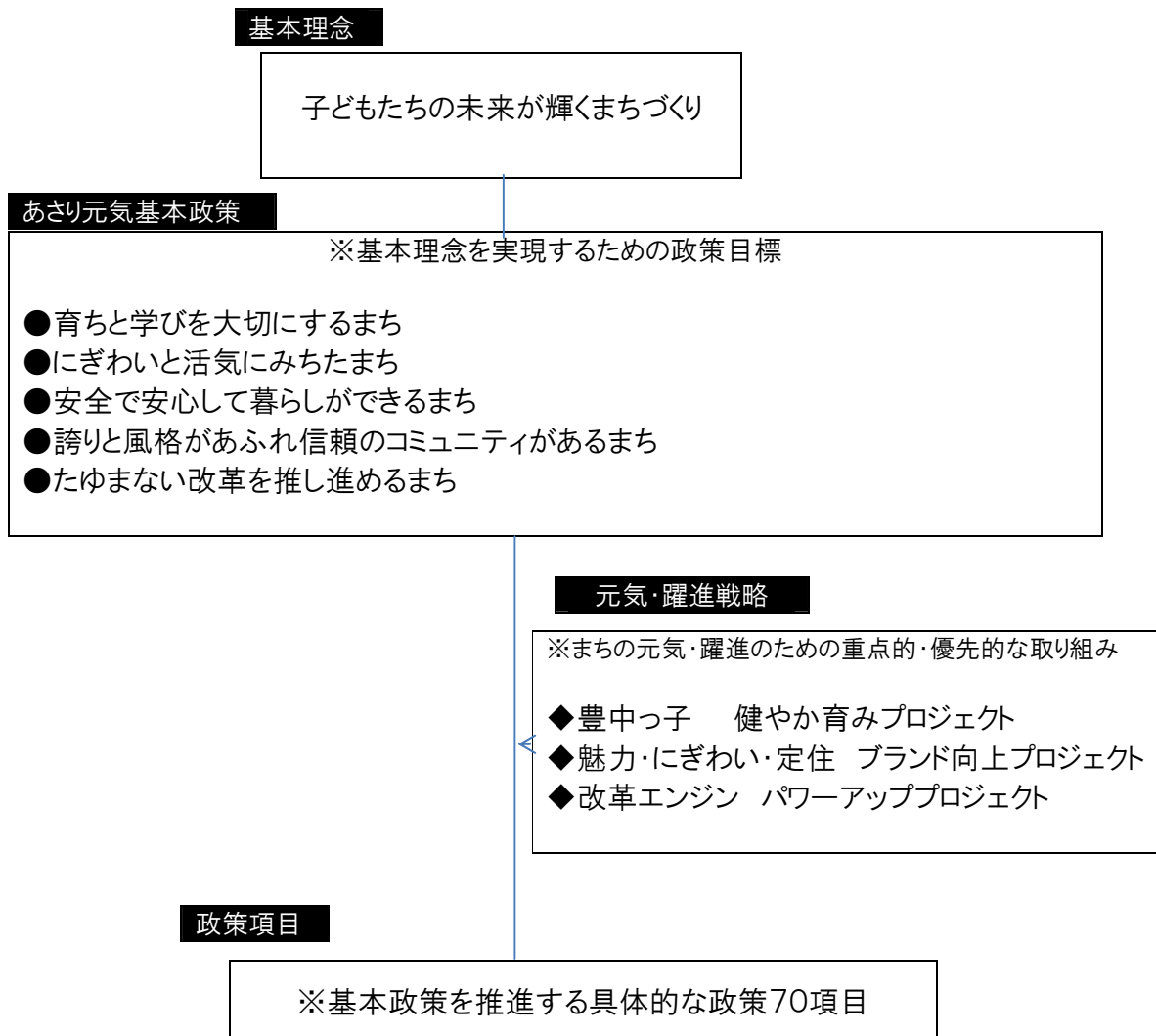
「一つひとつは、小さな事であっても、努力を続けていけば、やがては大きな目標を達成することができる。あきらめずに、できることからコツコツと努力を積み重ねることが一番の近道である」。かつて、私が教員であった時代、子どもたちに贈っていたメッセージです。

市民の皆さまと共に夢を語り、その実現をめざして真摯に取り組み、現実のものにする。このことが、今の豊中市政に一番求められているものと信じ、これまで貫いてまいりました。

私は、原点を忘れず2期8年間の実績をたずさえ、市民の皆さまと同じ目線にたち、大胆かつスピーディに、豊中のまちをさらにステップアップさせることをお約束いたします。

私のすすめる政策と躍進戦略

このため、私は、基本理念の実現に向けて、次の基本政策と戦略のもとで具体的な政策項目に取り組んでまいります。



あさり元気政策1 育ちと学びを大切にすまち

～健やか育み政策～

子どもたちが健やかに育ち、学ぶまちをつくること。私が市政運営にのぞむ原点です。子どもたちに、希望に満ちた、夢あふれる未来を託すため、安心して子育てができる環境をつくり、生きる力をつちかう“教育文化都市 とよなか”をさらに発展させてまいります。

●子育て・子育て支援「子どもの育ちとワークライフバランスの実現」

- 待機児童ゼロと認定こども園化の促進(民間活力導入)
- 児童相談、虐待への対応(児童相談所・児童養護施設の設置検討)
- 病児・病後児保育の充実
- 発達支援・療育の充実
- 子どもの医療費助成の充実
- 妊婦健康診査公費助成の充実(再掲)
- 産後ケアの充実(助産師等による見守り・支援)
- 放課後こどもクラブの開設延長

●教育「教育が社会をつくる 生きる力 知徳体力の向上」

- 小中一貫教育の推進
- 課題別学級指導の充実(教科別少人数指導)
- 少人数学級の拡充
- 授業日数の拡充(長期休業日の短縮)
- 専任教師による学力体力の向上
- 学校施設の耐震化 100%
- 学校でのICT活用の推進
- 中学校給食の推進
- 生涯学習ー「(仮称)とよなか大学院」の創設
- 市民スポーツの環境整備(ふれあい緑地の活用、ローズ球場等体育施設の再整備)
- 「(仮称)南部コラボセンター」構想の具体化(再掲)

あさり元気政策2 にぎわいと活気にみちたまち

～活力・快適都市政策～

まちなぎわいと活気は、子どもたちの未来に残す大切な財産です。

豊中は全国でも有数の交通の要衝地で、利便性に優れたまちです。このポテンシャルをさらに引き出し活用して、誰もが住みたい、働きたいと思うまちをめざします。

●産業 就労「企業誘致から地元産業の高付加価値化」

- モノづくりのまちの推進－地場産業、中小企業の振興など
- 若者、障害者、高齢者、女性の就労支援機能の強化
- 空港周辺地区など企業誘致の推進
- 豊中ブランドの商品開発支援
- 大阪国際空港就航都市と連携した交流事業の促進

●拠点整備の促進「豊中の玄関口の賑わい再生」

- 中心市街地（豊中～曽根ゾーン）の景観などまちなみ形成、服部天神駅周辺の再整備
- 庄内など南部地域の再整備促進－木造密集市街地再整備、再開発計画の見直し
- 千里中央地区再整備と機能強化
- 西部地域（移転跡地）の再生

●都市基盤整備 環境「活力ある都市づくり戦略」

- 環境に配慮した大阪国際空港の活用
- 総合的な空き家（老朽民間建築物等）対策の促進
- 良好な住宅ストックの形成（住宅マスタープランの策定）
- 市営住宅の効率的な管理
- 道路・橋梁・公園・管路などの耐震 長寿命化
- 自然エネルギーの活用支援（二酸化炭素削減）
- 資源ごみのリサイクルの推進と「（仮称）資源ごみ持ち去り禁止条例」の制定
- まちづくりルールづくりの支援（地区計画やマンション紛争等の未然防止）

あさり元気政策3 安全で安心して暮らができるまち

～安全・健康・福祉政策～

市民の皆さまの“安全安心”を確保することは、リーダーとしての第一の責務です。

多様な世代がいきいきと、自分らしく、そして安心して暮らしをおくることができるよう、市民の健康や生活を守るセーフティネットを整えるとともに、災害に強いまちづくりを進めます。

●防災 安全「地域力と一体になった防犯・防災力の向上」

- 地域での防犯・防災活動の支援充実(再掲)
- 広域連携による消防力アップ
- 南海トラフ地震の想定を踏まえた地域防災計画の策定など災害対策の充実
- 東日本大震災 被災都市への継続支援

●保健福祉「いきいきと安心して暮らせるまちの実現」

- 地域支えあい体制の充実
- 障害者(児)自立支援と地域生活支援の充実
- 地域密着型介護サービス・福祉サービスの充実
- 生活支援サービス、介護予防・認知症対策の充実
- 在宅医療の推進
- 妊婦健康診査公費助成の充実(再掲)
- 健康診査の充実と検診率の向上
- 健康危機管理体制の強化(新型インフルエンザ対策等)
- くらし再建パーソナルサポートの充実

あさり元気政策4 誇りと風格があふれ信頼のコミュニティがあるまち

～共生・協働政策～

豊中は、“住みたいまち”、“住んでよかったまち”として、高い評価を得ています。そこには信頼で結ばれたコミュニティがあり、活発な市民活動が展開されています。「市民力」と「地域力」が発揮できる環境を整え、参画と協働によるまちづくりを進め、住んで誇りに思える、住んでみたいと思われるまちをめざします。

●コミュニティ 市民活動 文化 人権平和「地域で支えるコミュニティづくり」

- (仮称)文化芸術センターの活用(市民文化の創造発信)
- 「(仮称)南部コラボセンター」構想の具体化 (再掲)
- 地域での防犯・防災活動の支援 (再掲)
- 地域連携センターの機能充実(地域自治の推進)
- NPO・ボランティア活動・コミュニティ活動の推進
- 人権・平和施策の推進(共に生きる社会づくり)

●シティ・プロモーション「誇りと風格のある選ばれるまちづくり」

- 「豊中ブランド戦略」の策定
- 豊中 魅力の創造・発信の強化(観光、ツーリズム事業の展開)
- 兄弟都市・沖縄市、就航先友好協定都市など都市間交流の推進
- 「音楽あふれるまち豊中」 日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学との連携
- 「高校野球発祥の地」顕彰事業の推進(メモリアルパークのリニューアルなど)
- 市制施行80周年事業の実施

あさり元気政策5 たゆまない改革を推し進めるまち

～改革・刷新政策～

市政運営にとって、「改革」はいつの時代にあっても、変わらず追求していかなければならないテーマです。平成11年から続いた財政非常事態は克服することができましたが、子どもたちにより良い未来を託すため、たゆまない改革を推し進め、持続可能な行財政運営を進めます。

●市政運営 行政改革「未来により良い資産を残す行政運営」

- 持続可能な行財政運営の戦略づくりとロードマップの策定
- 窓口サービスの充実と職員のホスピタリティ(接遇など)の向上
- 公共施設、公共サービスの改革(民間活力の導入)
- 市有施設のスクラップ&ビルド(施設の戦略的配置)
- 中核市にふさわしい組織体制の見直しと局制導入の検討
- 総合計画 都市マスタープランの点検・見直しと新たな都市戦略づくり
- 人事給与制度見直しによる公正性の確保
- 新公会計制度の推進と資産台帳の整備
- 入札制度の点検見直し(公正性の確保と客観性、透明性の向上)

元気・躍進戦略

豊中の元気と躍進を促すため、重点的・優先的に取り組むテーマを設定し、戦略的に取り組みを進めます。

◆豊中っ子 健やか育みプロジェクト

- 待機児童ゼロと認定こども園化の促進(民間活力導入)
- 児童相談、虐待への対応(児童相談所・児童養護施設の設置検討)
- 子どもの医療費助成の充実
- 授業日数の拡充
- 少人数学級の拡充
- 学校でのICT 活用の推進

◆魅力・にぎわい・定住 ブランド向上プロジェクト

- 「豊中ブランド戦略」の策定
- 「音楽あふれるまち豊中」 日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学との連携
- モノづくりのまちの推進―地場産業、中小企業の振興など
- 豊中ブランドの商品開発支援
- 中心市街地、庄内、千里など拠点地区の再整備と機能強化によるにぎわいづくり
- 良好な住宅ストックの形成(住宅マスタープランの策定)

◆改革エンジン パワーアッププロジェクト

- 持続可能な行財政運営の戦略づくりとロードマップの策定
- 窓口サービスの充実と職員のホスピタリティの向上
- 総合計画 都市マスタープランの点検・見直しと新たな都市戦略づくり
- 市有施設のスクラップ&ビルド(施設の戦略的配置)